

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を差し
控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を差し
控えております。

3 次のうち、**A** **C** に入れることばの組み合わせとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を書きなさい。

- ア A 孤独な B 半端はんぱな C 通かな
- イ A 新鮮な B 悲壮ひそうな C 通かな
- ウ A 新鮮な B 半端はんぱな C 静かな
- エ A 孤独な B 悲壮ひそうな C 静かな

4 兼好は旅立つことは「目覚むる心地」がするものだと表現したが、筆者は旅立つときに心に生じるものを何と表現しているか。本文中から七字で抜き出さなさい。

著作権者への
配慮から現時
点での掲載を
差し控えてお
ります。

5 本文中で筆者が述べている、旅やさまざまな土地が描かれた文学作品を読むことの意味について次のようにまとめた。**a** に入る内容を、本文中のことばを使って四十文字程度で書きなさい。

- ・古人の旅のありように触れることは、人間にとっての旅の真の意味を改めて考えるきっかけになるということ。
- ・まだ見ぬ土地を思うという他に代えがたい楽しみがあるということ。

a があるということ。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 本文中の次の漢字の読み方を書きなさい。

- ⑦ 分別
- ⑧ 呈して
- ⑨ 面影

2 ①「行きまし」とあるが、次のうち、このことは本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 行きたい
- イ 行きたくない
- ウ 行けない
- エ 行った

1 ① あやしいの本文中での意味として次のうち最も適しているものを一つ選び、記号を書きなさい。

ア 風流で イ 気の毒で ウ 明らかで エ 不思議で

3 ② は、ここでは「二面だけをとりあげて名づけたものだなあ」という意味であるが、水なしの池という名がついていることに対して、筆者がどのように感じたのはなぜか。本文中から読み取って現代のことばで三十文字程度で書きなさい。

五 現代はさまざまな面で変化の著しい時代だといわれています。そのような現代において、いつまでも変わらないでほしいとあなたが思うものは何ですか。あとの条件にしたがって、別の原稿用紙に二百字程度の文章を書きなさい。

題名や氏名は書かないで、本文から書き始めること。

- 条件1 最初に、変わらないでほしいと思うものは何かを書くこと。
- 条件2 次に、なぜそれが変わらないでほしいと思うのかを書くこと。

